東京	工業高等	再	  学校		開講年度	平成29年度	夏 (2017年度)	材	受業科目	情報処理	 ₽ II		
科目基礎		, ,,,,	3 3 170		1/13213 1 /2	11/2/2012	(===:   ; )		<u> </u>	111111111111111111111111111111111111111			
<u>17日坐り</u> 科目番号	XTCII.	In	044				科目区分		専門 / 必	 修			
村日笛亏     0044       授業形態     授業								単位の種別と単位数		<b>優修単位: 1</b>			
				5 <b>£</b> NL			対象学年	=177.57		. 1			
開設学科 物質工学科				-1-1			週時間数						
開設期     後期       教科書/教材							週时间数	2					
数件音/教 旦当教員	(1/A)	1-	+ <del></del>	th .									
		力	【石 英位	<u> </u>									
到達目標													
こめの基础	楚を身につ	作れる ける。	3ように	なるこ	ことを目標と	さする。また、卒	業研究で必要が生じた	た際はフ	プログラムを 	と作ってデー	・夕処理や理論	計算をする 	
ルーブ!	<u> </u>									1			
理想的な到達レベルの目安											達レベルの目安		
インターネットの仕組みと応用 インターネット , 実践的に使用					かり インターネットの仕組みがわかり , 基本的使用ができる				インターネットの仕組みがわか , 基本的使用ができる				
-					値計算の基礎 る	楚を理解し, 応用	で数値計算の基礎	数値計算の基礎が理解できる数値			の基礎が理解	?できない	
データの型とデータ構造が理解で データの型					<u>-</u> タの型と	 データ構造を理解	ごし データの型とデ				)型とデータ構	造を理解	
きる	U キロ I I I I I I I I I I I I I I I I I I	<u>-</u>	LAB		設計ができる	5	きる			きない			
	到達目標]												
ABEE (C 学習・教育	)JABEE((	1) 学習・	数音目	標 C1	4 学習・教	育目標 C3 学習・	教育日標 C8						
教育方法		, –	-1 M M	. 1/1/ 01	- · 」		WHIM CO						
<b>秋</b> 月刀万	5守		<u></u> т # лі	n+ ı — אינה	SSI + \/:	-	: +: + \ トフド#bト	ьп тш v л =	7 L M		羽 ナフ に にナ	, H-	
既要		<u> </u>   2	年生のI シフト	呀に子 のPlo	音したVISUa t32を習得し	ョ Basic for App たり、Processir	licationsおよび数式st ngやImageJを用いて	処理ソノ []AVA]	ノトMaxima 言語のプログ	iの心用を字 ブラミングσ	百9 るととも )学習をする。	に, クフノ	
受業の進ん	 め方・方法				中心に学習し		.5,ages e/11010	, , , , , , ,			- 1 1 - 1 00		
主意点	-/J /J/A				<u>アルにテロし</u> 習をしておく								
受業計画			3+KX2-3		<u> </u>	· · · · · ·							
又未可以	<u> </u>	\ <sub>I</sub>		1222 <del>717</del> -	+ rto			\H -7"	LATINATI	<del></del>			
		週		授業区			`	週この	との到達目標	₹			
		1逓	l	IPIot3	ターイツ トの 22を用いたク	)仕組みと応用(1) ブラフ作成			左記内容を理解する				
				1	lot32を用いたグラフ作成 (ンターネットの仕組みと応用(2)								
		2逓	<u>l</u>	Visua	/isual Basic for Appplicationsの復習 基本構文/関数/プロシージャなど			同上	同上				
								ļ					
		3逓	l	Exce 台形	I/Visual Bas 漬分, ソル/	sic for Appplicat (一で高次方程式)	cationsの応用(1)  式を解く						
				Visua	,								
		4逓	<u> </u>	マク[	sual Basic for Appplicationsの応用(2) クロの自動記録〜グラフの自動整形,クリップボー を操る他			同上	同上				
	3rdQ			1		for Appplicationsの応用(3)		+					
後期		5逓	l	平滑	出 basic ioi 化,Laglang	Appplicationsの jeの補間法,ピー	同上	同上					
		6週	1	Visua	al Basic for	Appplicationsの	ppplicationsの応用(4)						
			<u>.</u>	オブ	ジェクトとク	<i>י</i> ラス・マクロと	ワークシートの同期	1-3-	PJ				
		73⊯	ーを SIE EXCE		Visual Basic for Appplicationsの応用(5) 他のアプリケーションを操作する・オリジナルメニュ								
		/ 炟			,フラフーン 作る	コンで採作する		同上					
		O,H			I/Visual Bas	sic for Appplicat		la F					
		∇処			rcel/Visual Basic for Appplicationsの応用(6) 線形最小二乗法によるフィッティング				同上				
		O,™	ı	JAVA	入門(1)	を体って141/4ナケ	★FE全古 フ / 4 \						
		9姫			Processing言語を使ってJAVAを体験する(1) Processing言語の基礎				同上				
			10週 P ク 11週 P		JAVA 入門(2) Processing言語を使ってJAVAを体験する(2) グラフィックスと文字表示 JAVA 入門(3) Processing言語を使ってJAVAを体験する(3) アニメーション				同上				
		10											
		111											
		1 1 7							同上				
	4thQ		12週		JAVA 入門(4)								
		12			Processing言語を使ってJAVAを体験する(4) 文字列とグラフ-マンデルブロー集合				同上				
									-				
		13			GIMPやImage Jによる画像処理入門 写真からイラストを作る 電子顕微鏡写真から粒子径分布を解析する 期末試験				同上				
		14							同上				
		15	15週		期末試験の解答・解説 同上								
			16週		P date								
モデル	フアカリ:		_	)学型	内容と到								
<u> </u>	<u> </u>		分野	, <u>,                                  </u>	学習内容	<del>ミロ1/示</del> 学習内容の到達					到達レベル	授業週	
17大只			/J±ľ		ナロバ台			\ <b>ブ</b> 甘ナ	- 的ナバ字管ド	ブキマ	到達レバリル	1又未炟	
				. — —	   桂却   1 — —		論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。 						
			145-45			コリロカドイナコチン・ノー	ムやインターネットの基本的な仕組みを把握し			, I ZKHK			
基礎的能力	カー工学基準	楚	情報リ  シー	,,,	情報リテラ  シー	情報伝達シスプ	アムヤインターネット	へのを	でいる1工作品の		3		

			***************************************	 数値計算の基礎が理		3						
			I	データの型とデータ構造が理解できる				3				
評価割合												
	試験		是出課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合語	it			
総合評価割合	50		50	0	0	0	0	10	0			
基礎的能力	20	C	)	0	0	0	0	20				
専門的能力	30		50	0	0	0	0					
分野横断的能力	0	C	)	0	0	0	0	0				